

2. 学校・家庭・地域社会連携の構築

(1) 地域全体で子どもを育てる「サポートチーム播磨」

「サポートチーム播磨」のさらなる充実に努めます。各小中学校へは、学校生活サポーターを配置するとともに、地域の皆さまのボランティアなどの協力を得て、本町における児童生徒の基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と一人一人の個性や能力の伸長を図ります。また、ICT 教育や読書活動など新しい教育課題に対応した支援体制を整えます。



▲運動会でのフラッグ (播磨小学校)



▲異年齢児と一緒に (蓮池幼稚園)

(2) 教職員研修の充実

「学びのプロ・教えるプロ」として、生涯を通して学び続ける姿勢を示し、「わかる授業」の創造とその専門性を高めるための教職員研修のさらなる充実に努めます。また、新学習指導要領の円滑な実施に向け、「特別の教科 道徳」「外国語科」などの教育の充実や、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業の充実、ICT 活用指導能力の向上などに取り組みます。



▲コムスク (蓮池小学校)



▲音楽会 (播磨中学校)



▲外遊び (播磨幼稚園)



▲自然体験 (播磨西小学校)

部活動指導員の配置

播磨町では、NPO法人スポーツクラブ21はりまの協力により、令和2年度より播磨中学校の剣道部、播磨南中学校のサッカー部、両中学校の陸上競技部に部活動指導員を配置しています。専門的な技術や知識を有する地域指導者の質の高い指導のもと、生徒がやりがいをもって活動できる体制を整備しています。令和5年度以降、休日の部活動の地域移行が段階的に図られることを見据え、地域指導者との調整をさらに進めます。

(3) 教育環境の整備

学校園が安全・安心な場となるよう学校施設改修計画に基づき、改修を進めます。なお、令和3年度は播磨南小学校の給食施設整備を進め、令和4年4月の供用開始に備えます。また、播磨西小学校においては校舎東側の改修、蓮池小学校においては北校舎のトイレ及び渡り廊下の改修、播磨南中学校においてはプールの改築を実施し、快適な学習環境を提供します。

3. ふるさとへの愛を育む生涯学習社会の形成

(1) 郷土文化への理解の促進

播磨町は古代にさかのぼる古い歴史と文化を有する町で、子どもたちが播磨町を「ふるさと」として愛着と誇りを持てるような学校園教育、生涯学習体制の構築を図ります。

(2) 生涯にわたる学習活動への支援

播磨町の有する豊富な郷土文化財の活用などを通して、特色ある生涯学習体制を整備し、町民の「学び」と、その「学び」を生かした「地域づくり」を支援します。

(3) 人権尊重の地域づくり

学校や公民館などにおいて、人権学習やその他様々な学習が行われることにより、世代や立場などを超えた人々のつながりや支え合いが形成され、また、「地域づくりの担い手」が育成されるような、生涯学習体制の確立をめざします。

播磨町の教育

▶問合せ 播磨町教育委員会
 教育総務グループ ☎079 (435) 0533
 学校教育グループ ☎079 (435) 0545
 生涯学習グループ ☎079 (435) 0565

「播磨町教育大綱」の理念・方針を骨格に第2期「播磨町教育振興基本計画」に基づき、本町の特色ある教育のさらなる充実に努めてまいります。4月号は、年度のはじめにあたり「播磨町の教育」について重点項目と取り組みをお知らせします。また、今年度の学校園や教育委員会の取り組みについては、次号以降の広報はりまでお知らせいたします。

「播磨町教育大綱」

基本理念 「古代から未来へ いきいき きらめく人づくり」

基本方針

1. 園児・児童・生徒が自立して社会で生きていく力を育成する
2. 家庭・学校園・地域社会と連携を密にし、総合的な教育を推進する
3. ふるさと播磨町に誇りを持ち、生涯にわたって、いきいきと学び続けることができる教育を推進する

平成27年6月策定



▲校内美化 (播磨南中学校)

1. 自立して社会で生きていく力の育成

(1) 幼児教育の充実

幼児教育の充実とは、生涯にわたる人格の形成及び義務教育の基礎を培うものであり、家庭教育支援も含めた幼児教育の質的向上に取り組めます。



▲豆まき (播磨西幼稚園)

(2) 「生きる力」を育む教育の推進

知識・技能の習得に加えて、学びに向かう力、思考力・判断力・表現力などの育成を柱に、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った、児童生徒自ら課題を見つけ、考え、判断して解決していくことを促す学習を推進していきます。



▲プログラミング学習 (播磨南小学校)

(3) キャリア教育の充実

兵庫の特色ある体験教育を通して、子どもたちの発達段階に応じたキャリア教育の充実に取り組み、子どもたちが、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育んでいきます。



▲リモート朝会 (蓮池小学校)

児童生徒1人1台のタブレット端末を導入

Society5.0 時代に生きる子どもたちには、未来を切り拓いていく主体性や豊かな造像性が求められます。国は、多様な子どもたちに個別最適化され、資質・能力が確実に育成できる教育 ICT 環境を実現させるため、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する GIGA スクール構想を進めています。播磨町でも、令和3年度から町内すべての児童生徒に対して1人1台の学習用タブレット端末環境を整備し、新しい時代の教育活動に対応していきます。